

～PaaS-CAE基盤技術に関する研究開発～

委託先：(株)キャトルアイ・サイエンス

研究代表者：代表取締役 上島 豊

研究期間：平成21年11月～平成23年10月

主な研究実施場所：京都府京田辺市

研究成果：扱うべきデータや処理プロセスの変更が頻繁に発生するCAEシミュレーションや実験データの解析システム等におけるPaaS化を目的として、以下の7項目に関する研究開発を実施した。

- (1) HTTPSでリモートサーバの画面を高速に伝送する機構
- (2) RCMシステムの負荷分散、冗長機構
- (3) データベースの高機密化（排他的記録）機構
- (4) Workflowや高品位なUIをGUIで設定、変更を可能にする機構
- (5) RCMシステム間（WebServer - WebServer）の連携機構
- (6) 既存（非RCM）社内R&Dシステムとの連携機構
- (7) 実証システムの構築と運用

その結果、次の3点を実現した。

1. クラウドで動作している既存アプリの画面のHTTPS経由でのクライアント側への表示
2. 高いレベルでのセキュリティを保ちつつ、UIをGUIから設定・変更すること
3. 商用PaaSと社内システムの連携

この成果を基に、研究開発を行う組織に対して、研究開発の費用対効果の向上、災害時の業務継続性確保、ノウハウの継承性確保を実現するシステムの提供を実施していく予定である。

研究成果説明図：

